

# 行政の危機管理

～相次ぐ災難への対応と

「ピンチをチャンス」に変えるまちづくり～



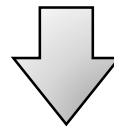
古楽裕而  
のまち福島市

福島市長 木幡 浩

# 災害の傾向

## 気象変動の激化と社会環境の脆弱化

～ 都市化、高齢化、国際化、デジタル化...



## 災害の大規模化、激烈化、複合化、頻発化

- ・自然災害～巨大地震、巨大台風、ゲリラ豪雨、噴火…
- ・事故災害～原発災害、通信障害等による機能マヒ
- ・コロナ禍

(福島市)

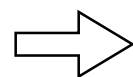
2011年 東日本大震災、原発災害との長い闘い

2019年 台風19号

2020年、2021年 福島県沖地震(最大6強、福島市は震度6弱)

2020～2022年 3年連続の農作物被害(病虫害、凍霜害、雹害)

二次的災害



風評被害、市民間の分断、地域の衰退

# 東日本大震災 ～ 未曾有の巨大複合災害

## ◆ 人的被害（2022年3月1日現在）

・ 死者19,759人（福島市17人） ・ 行方不明者2,553人 ・ 負傷者6,242人（19人）



小高での津波（富沢貞嗣さん撮影）



倒壊した福島学院大学宮代  
キャンパス本館(福島民友より)



決壊した藤沼湖（福島県東日本  
大震災記録写真集より）



福島第一原子力発電所4号機  
爆発（航空自衛隊撮影）



コスモ石油タンク炎上時の火柱  
（千葉県警察撮影）



# 原子力災害との闘い



## <面的除染>

- ・ 最大 24.24  $\mu\text{Sv}/\text{時}$  (2011.3.15)  
→ 0.15  $\mu\text{Sv}/\text{時}$  (2022.3)
- ・ 安心して暮らせる環境に

## <見えない放射線>

- ・ 初期の情報不足
- ・ 見えない放射線への不安・恐怖  
→ 市民間の軋轢  
全国的な風評・偏見差別  
→ 今も根強く残存

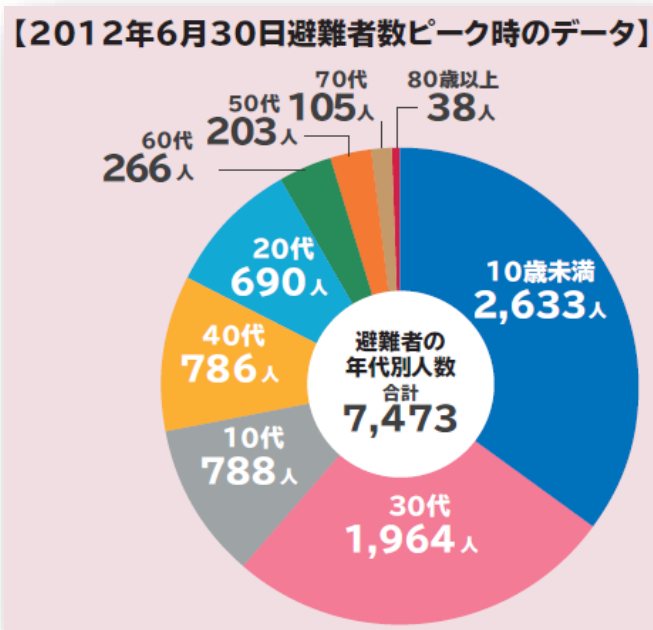
福島市の空間放射線量最大値と全市放射線量測定結果平均値



コロナ禍での差別偏見、  
誹謗中傷と共通

# 避難者の状況

	市内への避難者	市外への避難者
ピーク時	12,065人 (2011.8.31)	7,437人 (2012.6.30)
2022.8.31 現在	5,605人	2,068人

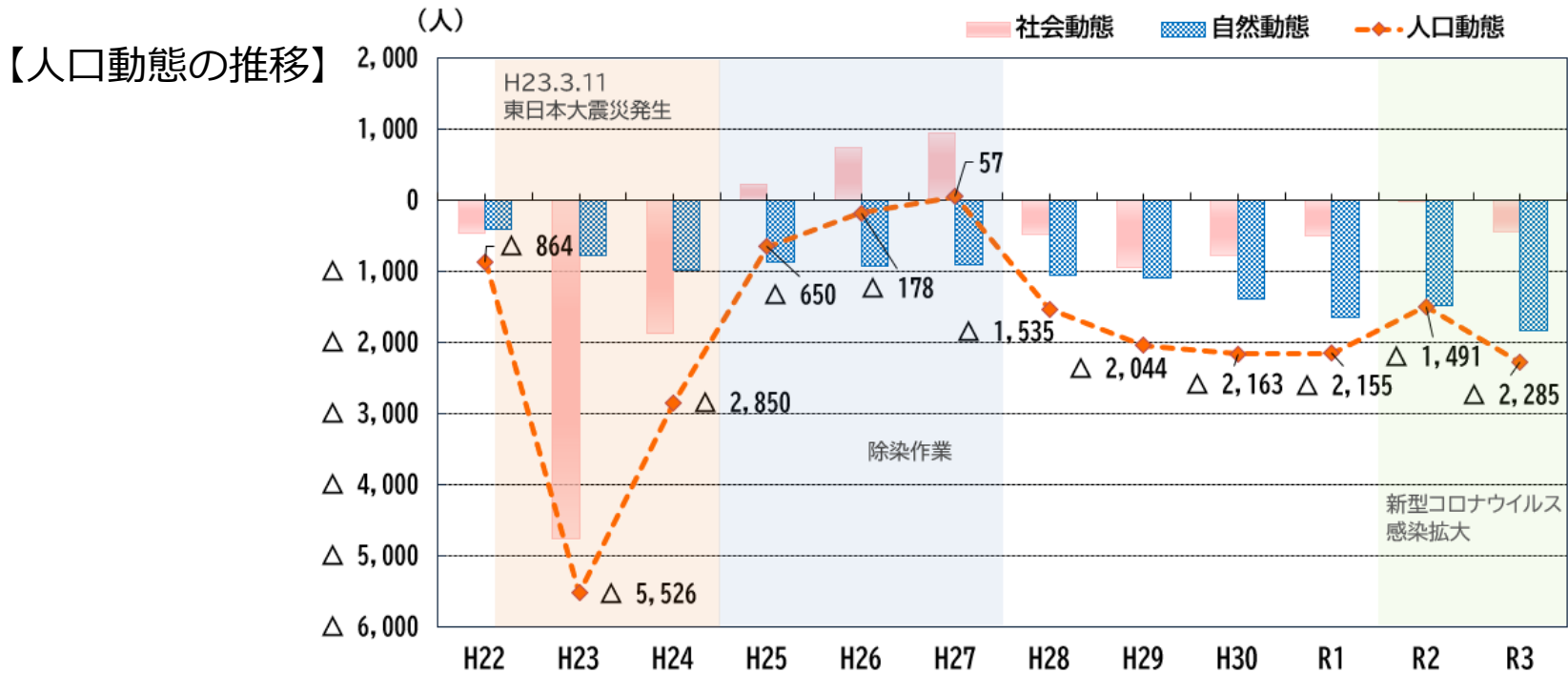




# 福島市の人口

## 27万9千人

### 2022年（令和4年）8月1日現在



#### ◆社会動態

- H23、H24の減少が大きいのは、東日本大震災・原子力災害の影響。
- H25～H27は一時的に増加するも、H28以降は減少。
- 青年層を中心に大都市圏への転出超過の傾向。

#### ◆自然動態

- 出生数は減少、死亡数は増加の傾向が継続。
- 出生率、婚姻数も減少の傾向。
- R3は全国と同じく出生数が過去最少で前年比9.8%減。新型コロナの影響が推測される。

# 災害との共存 福島市の地域特性

吾妻山からの河川が形成した扇状地

↑ 安達太良山



火山災害

→ 吾妻山

西

土砂災害

洪水災害

活断層による震災

東

北

南

阿武隈川

荒川

松川

摺上川

福島駅

東北自動車道

信夫山

国道4号





# 令和元年 台風19号の概況

- ・ピークは10月12日～13日の深夜
- ・初の大雨特別警報(39時間総雨量 平地252mm、山間部383mm)
- ・阿武隈川本支流の各所で最高水位、決壊1カ所
- ・人的被害 負傷者8名
- ・罹災証明件数 1,497件 家屋等被害 1,432件  
床上(準半壊以上)689件、床下(一部損壊)594件など
- ・避難情報13件(避難指示6、避難勧告5、高齢者等避難開始2)
- ・避難所開設 最大42カ所 1,930世帯 4,947名

## ▼阿武隈川の支流 濁川で決壊





# 福島県沖地震の概況

## 1. 令和3年福島県沖地震(R3. 10. 31現在)

- ・23時08分発生 最大震度6強(福島市6弱)
- ・人的被害 死者1名、負傷者15名
- ・住家等被害 5,429件 うち半壊以上983件
- ・罹災証明件数 10,048件
- ・自主避難所開設 17カ所、避難者最大23名

中央団地7号棟



## 2. 令和4年福島県沖地震(R4. 9. 20現在)

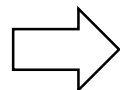
- ・23時36分発生 最大震度6強(福島市6弱)
- ・人的被害 負傷者17名
- ・住家等被害 6,716件 うち半壊以上1,421件
- ・罹災証明件数 9,631件
- ・自主避難所開設 17カ所、避難者最大63名

阿武隈急行線  
福島学院前駅



# <台風19号を教訓に> 水害対策パッケージ

R1.12 策定



R2.2 国土強靱化地方計画策定

## 1 減災・水防対策の推進

- ①市民全体への正確かつ迅速な情報伝達等
  - ・防災情報配信システムの強化検討  
同報系防災行政無線導入検討  
(屋外スピーカー設置、福祉施設等への戸別受信機配布等)
  - ・危機管理型水位計等の活用による国、県と連携した各河川の避難判断水位の設定・見直し
  - ・内水ハザードマップの作成
- ②水防体制の強化
  - ・地区防災計画（災害時要援護者の避難誘導含む）策定推進
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の策定推進
  - ・水防団員の確保
  - ・内水排除作業マニュアルの整備、講習会の実施
- ③水防意識の向上
  - ・防災訓練や講話による「自助」意識付けの推進
  - ・ハザードマップの地区説明会による住民周知

## 2 土地利用対策の推進

- ①立地適正化計画との連携
  - ・居住推奨区域の見直し
- ②土地の適正な維持管理による防災機能の向上
  - ・農用地、森林の整備と適正な維持管理

## 3 治水対策の推進

- ①河川・下水道の整備促進
  - ・浸水多発地区の対策（祓川、森合ガード等）
- ②国・県管理河川と連携した整備・維持管理
  - ・緊急自然災害防止対策事業を活用した整備  
(河川・農業用水路改修、河道掘削)
  - ・維持管理の強化（土砂撤去・樹木伐採等）
- ③既存ストックの改良活用
  - ・雨水排水施設等のネットワーク化、分散化等
  - ・既設ポンプ場改修
- ④樋管等の改修検討
- ⑤水門管理体制の強化

## 4 流域対策の推進

- ①一時貯留施設の設置
  - ・緊急自然災害防止対策事業を活用した整備
- ②貯留施設と浸透施設の設置検討
  - ・公共施設、民間施設、一般住宅への設置、たんぼダム
- ③開発行為等における貯留施設の設置
- ④総合的な雨水対策計画の策定

# 阿武隈川上流域の流域治水

R3.3 阿武隈川流域治水宣言

R4.9 阿武隈川水系整備基本方針の改定

長期的な河川整備の流量目標: 7,000⇒8,600m<sup>3</sup>/s

阿武隈川水系河川整備計画の改定へ

<令和の大改修～阿武隈川緊急治水対策プロジェクト>

総額1,840億円 事業期間:令和元年度～10年度

遊水地計画



砂防ダム





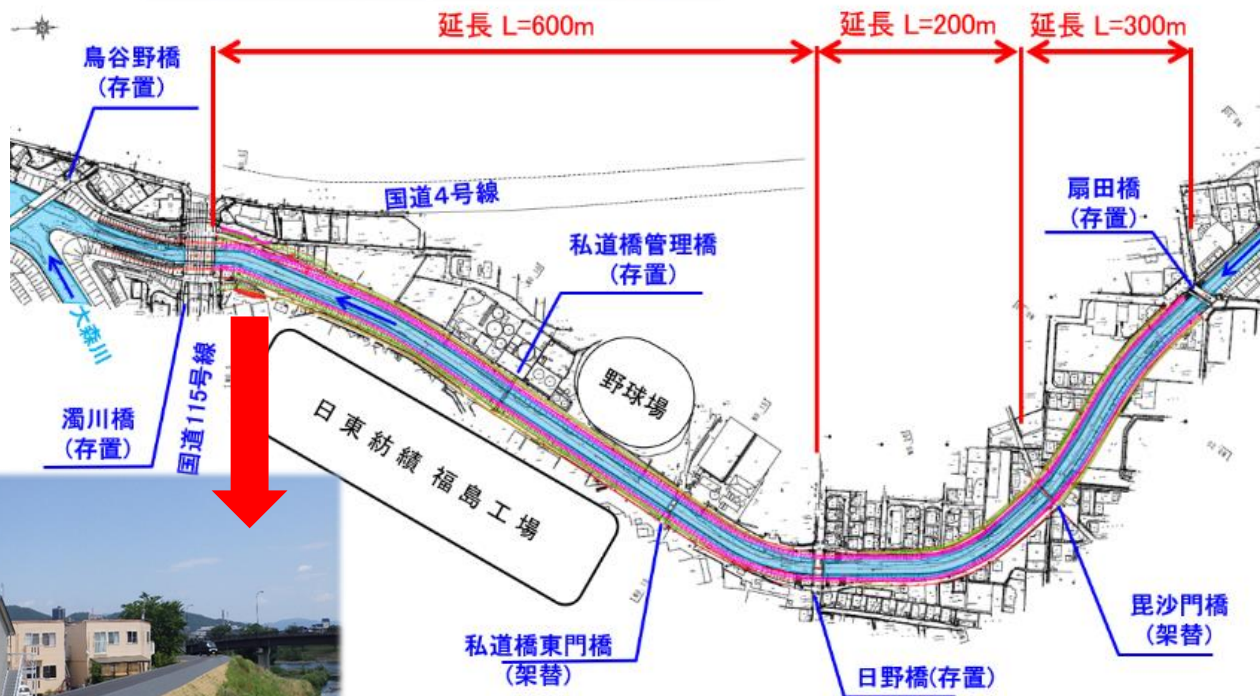
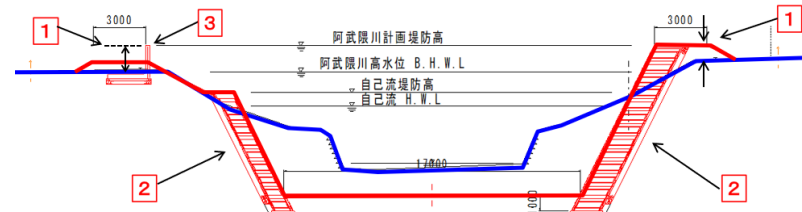


# 流域治水～濁川の改修

決壊箇所対岸  
かさ上げ



改修断面図



決壊箇所



# 流域治水

## ～普通河川・準用河川の改修



福島市  
FUKUSHIMA CITY

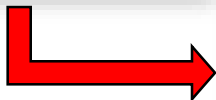
-13-

防災・減災、国土強靱化加速化対策の一環。単独事業で推進

【雨水貯留施設】



【河川改修、樹木伐採・河道掘削】⇒流下能力の強化

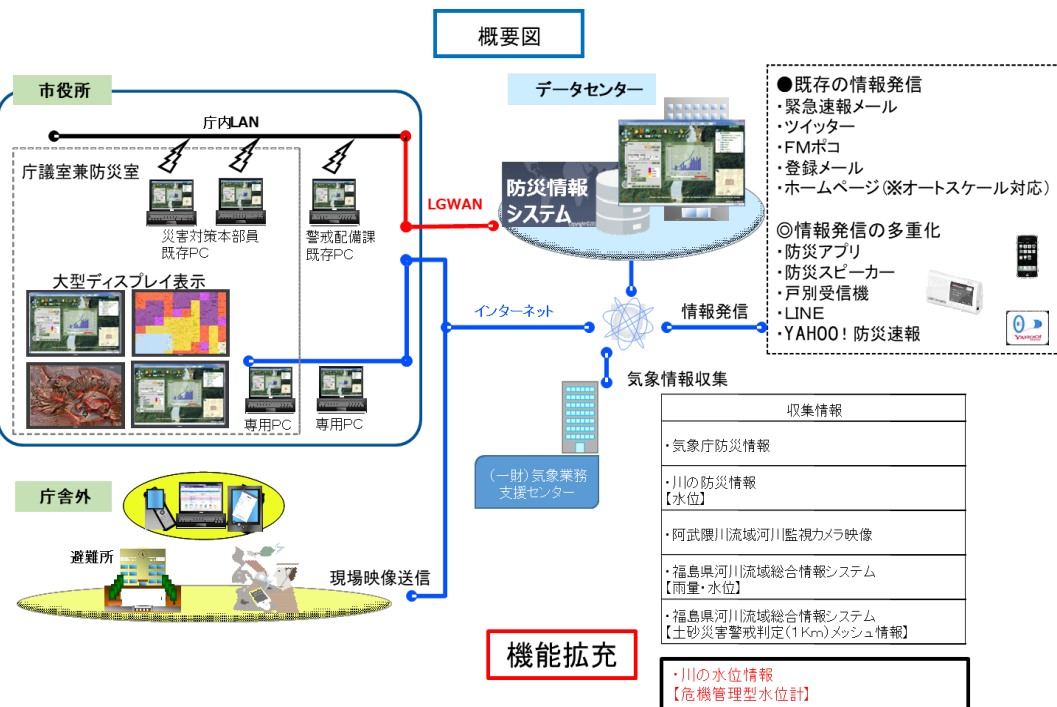


# 災害情報収集伝達体制の強化①

## 1. 災害対策オペレーションシステムの構築 (R3.5)

- ① 気象情報等の自動収集 ← 水位計等の増設、危機管理水位計も自動収集
- ② GISを利用した気象情報・被害情報の共有・一覧表示  
⇒ Accessを活用した被害情報等の即時共有システムから発展
- ③ 避難情報の発令判断支援 ⇒ 一定水位でアラート機能
- ④ 避難情報を複数メディアに一括配信

概要図



時	東夷橋															
	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川						
00:00	1.44	0.62	0.66	3.40	1.47	-0.44	-0.43	0.99	-3.07	0.81	-5.97	-2.77	-1.14	-0.90	2.23	2.08
00:10	1.45	0.88	1.06	3.49	1.48	-0.39	-0.42	1.01	-	0.75	-	1.22	-0.85	2.28	2.12	
00:20	1.51	1.10	1.11	3.59	1.49	-0.31	-0.39	1.06	-	1.05	-	-2.26	1.35	-0.71	2.32	2.16
00:30	1.49	1.28	1.13	3.69	1.50	-0.24	-0.36	1.08	-	1.39	-	-1.98	1.47	-2.53	2.34	2.22
00:40	1.49	1.40	1.38	3.75	1.52	-0.17	-0.32	1.18	-	1.65	-	-1.79	1.52	-2.49	2.36	2.29
00:50	1.49	1.47	1.29	3.79	1.54	-0.10	-0.27	1.37	-	1.80	-	-1.65	1.52	-2.42	2.36	2.34
01:00	1.51	1.50	1.29	3.81	1.56	-0.06	-0.24	1.47	-	1.96	-	-1.63	1.50	-2.56	2.46	2.35
01:10	1.52	1.53	1.30	3.82	1.60	-0.02	-0.18	1.48	-	1.92	-	-1.63	1.47	-2.65	2.48	2.39
01:20	1.53	1.57	1.32	3.84	1.64	0.01	-0.11	1.44	-	1.89	-	-1.67	1.42	-2.67	2.47	2.44
01:30	1.55	1.60	1.34	3.87	1.70	0.06	-0.07	1.38	-	1.82	-	-1.71	1.38	-2.73	2.45	2.48
01:40	1.57	1.65	1.38	3.89	1.71	0.09	-0.03	1.32	-	1.74	-	-1.76	1.35	-2.80	2.42	2.48
01:50	1.59	1.69	1.40	3.92	1.73	0.15	0.00	1.26	-	1.69	-	-1.84	1.31	-2.84	2.38	2.46
02:00	1.61	1.72	1.51	3.97	1.75	0.18	0.02	1.21	-	1.57	-	-1.89	1.29	-2.87	2.35	2.43
02:10	1.64	1.76	1.63	4.00	1.78	0.22	0.03	1.16	-	1.49	-	-1.94	1.26	-2.91	2.31	2.41
02:20	1.67	1.78	1.76	4.04	1.83	0.23	0.06	1.13	-	1.43	-	-1.98	1.24	-2.94	2.28	2.37
02:30	1.69	1.80	1.87	4.06	1.88	0.26	0.09	1.09	-	1.37	-	-2.02	1.22	-2.97	2.26	2.35
02:40	1.72	1.81	1.92	4.09	1.95	0.30	0.13	1.06	-	1.32	-	-2.06	1.20	-2.99	2.25	2.31
02:50	1.74	1.82	2.00	4.13	2.02	0.34	0.19	1.03	-	1.27	-	-2.09	1.18	-3.02	2.23	2.28
03:00	1.77	1.83	2.06	4.17	2.08	0.39	0.24	1.00	-	1.21	-	-2.13	1.16	-	2.21	2.26
03:10	1.79	1.83	2.11	4.23	2.15	0.44	0.28	0.98	-	1.16	-	-2.17	1.15	-	2.20	2.25
03:20	1.81	1.84	2.13	4.30	2.19	0.49	0.31	0.97	-	1.15	-	-2.17	1.14	-	2.19	2.22
03:30	1.83	1.83	2.15	4.38	2.22	0.53	0.32	0.95	-	1.12	-	-2.20	1.13	-	2.17	2.19
03:40	1.85	1.85	2.18	4.46	2.25	0.62	0.36	0.94	-0.07	1.02	-0.07	-2.63	1.52	-2.46	2.48	2.48
最大水位時	08:00	03:50	04:10	06:00	07:20	07:40	08:40	01:10	00:00	01:10	00:00	01:10	00:50	00:40	01:10	01:40



# 災害情報収集伝達体制の強化②

## 2. 情報伝達の多重化

- ①屋外スピーカー ⇒ 聞きづらさの課題（機械音声、輻輳、気密住宅）
- ②戸別受信機
- ③スマホアプリ
- ④災害メール、SNS、HP



## 3. 実効ある情報伝達

- ①HPの混雑回避～回線増強、別サイト活用
- ②避難情報等の内容の定型化
- ③避難情報の全体像の提供→繰返し
- ④切迫感のある音声伝達
- ⑤避難所ごとの空き情報配信
- ⑥「浸水想定区域」等の用語使用 など

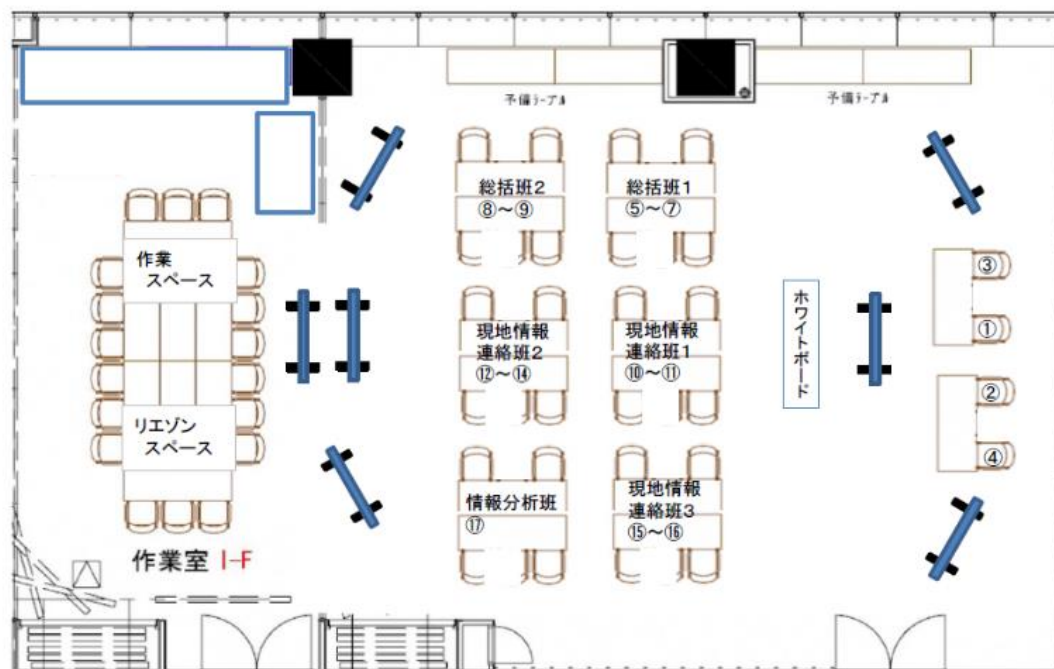




# 防災体制の強化①

## 1. 災害対策本部室の見直し

- ① 市長も常駐、情報共有・全体の動きが分かる機能的配置
- ② 災害対策オペレーションシステム配置



### 【参加者及び配置】

- ① 本部長
- ② 副本部長
- ③ 副本部長
- ④ 危機管理監
- ⑤ 危機管理室1
- ⑥ 危機管理室2
- ⑦ 危機管理室3
- ⑧ 水道総務課
- ⑨ 広聴広報課
- ⑩ 建設部次長
- ⑪ 都市政策部次長
- ⑫ 農林整備課
- ⑬ 道路保全課
- ⑭ 河川課
- ⑮ 下水道総務課
- ⑯ 警防課
- ⑰ 財務部次長(税務)



## 《台風19号時の本部会議》





# 防災体制の強化②

## 2. 避難等判断水位の新設・見直し

### 《台風19号時の水位》

観測所名	須賀川	阿久津	本宮	福島	二本松	松川町	八木田	清水	永井川	大森	沖高
河川名	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	水原川	荒川	松川	濁川	大森川	八反田川
計画高水位	7.99	8.68	9.29	6.56	13.18	3.30	3.40	4.42	2.40	2.20	2.40
はん蓋危険水位	7.70	7.90	7.90	5.40	10.40	-	2.00	3.85	2.30	2.05	1.70
避難判断水位	7.10	6.80	6.30	5.10	10.10	-	1.30	3.60	2.20	1.91	1.60
はん蓋注意水位	4.50	5.50	5.00	4.00	6.50	2.00	1.20	2.50	1.70	1.50	1.35
水防団待機水位	3.50	4.00	4.00	3.00	5.50	1.50	0.50	2.00	1.00	1.00	1.00
23:30	8.79 ↑	9.24 ↑	7.98 ↑	6.00 ↑	9.89 ↑	2.47 ↑	2.49 ↑	3.60 ↑	4.05 ↑	2.25 ↑	2.17 ↓
23:40	8.85 ↑	9.39 ↑	8.13 ↑	6.09 ↑	10.06 ↑	2.46 ↓	2.12 ↓	3.62 ↑	4.09 ↑	2.23 ↓	2.15 ↓
23:50	8.89 ↑	9.51 ↑	8.28 ↑	6.15 ↑	10.20 ↑	2.46 →	2.53 ↑	3.63 ↑	4.13 ↑	2.27 ↑	2.15 →
10月13日 0:00	8.94 ↑	9.61 ↑	8.42 ↑	6.21 ↑	10.39 ↑	2.41 ↓	2.12 ↓	3.59 ↓	4.17 ↑	2.26 ↓	2.11 ↓
0:10	8.98 ↑	9.71 ↑	8.65 ↑	6.25 ↑	10.55 ↑	2.41 →	2.12 →	3.57 ↓	4.21 ↑	2.18 ↓	2.11 →
0:20	9.02 ↑	9.78 ↑	8.80 ↑	6.36 ↑	10.71 ↑	2.38 ↓	2.01 ↓	3.55 ↓	4.24 ↑	2.11 ↓	2.08 ↓
0:30	9.05 ↑	9.87 ↑	8.94 ↑	6.36 →	10.88 ↑	2.36 ↓	1.83 ↓	3.49 ↓	4.27 ↑	2.13 ↑	2.06 ↓
0:40	9.07 ↑	9.93 ↑	9.06 ↑	6.42 ↑	10.98 ↑	2.37 ↑	1.99 ↑	3.45 ↓	4.28 ↑	2.02 ↓	2.02 ↓
0:50	9.11 ↑	9.93 →	9.15 ↑	6.33 ↓	11.19 ↑	2.28 ↓	1.90 ↓	3.41 ↓	4.29 ↑	2.02 →	2.00 ↓
1:00	9.14 ↑	9.99 ↑	9.22 ↑	6.31 ↓	11.35 ↑	2.26 ↓	1.94 ↑	3.35 ↓	4.30 ↑	2.06 ↑	1.97 ↓
1:10	9.16 ↑	10.00 ↑	9.33 ↑	6.32 ↑	11.46 ↑	2.27 ↑	1.80 ↓	3.30 ↓	4.28 ↓	1.98 ↓	1.92 ↓
1:20	9.18 ↑	10.00 →	9.45 ↑	6.36 ↑	11.62 ↑	2.23 ↓	1.67 ↓	3.25 ↓	4.28 →	1.85 ↓	1.90 ↓
1:30	9.24 ↑	10.01 ↑	9.52 ↑	6.36 →	11.75 ↑	2.20 ↓	1.62 ↓	3.20 ↓	4.26 ↓	1.82 ↓	1.89 ↓
1:40	9.30 ↑	10.00 ↓	9.61 ↑	6.39 ↑	11.85 ↑	2.14 ↓	1.50 ↓	3.13 ↓	4.25 ↓	1.81 ↓	1.86 ↓
1:50	9.37 ↑	10.00 →	9.67 ↑	6.39 →	11.97 ↑	2.09 ↓	1.47 ↓	3.08 ↓	4.23 ↓	1.76 ↓	1.81 ↓



## 防災体制の強化③

### 3. 防災訓練の実効性確保

#### ① 訓練時期の前倒し

従前：10月下旬 ⇒ 平成31年度～：5月連休明け

#### ② コロナ禍、夜間、真冬における訓練

コロナ禍での防災訓練



夜の防災訓練



真冬の防災訓練



### 4. 事前の備えの強化

#### ① 排水ポンプ等の稼働確認

② 応援職員等の事前登録(避難所要員、家屋調査要員、除雪応援要員など)

③ 家屋調査の改善



## 防災体制の強化④

### 5. 応援・受援に対する備え

#### (1) 台風19号時

- ① 応援～県内他市町村に給水車派遣、災害ごみ処理受入、保健師派遣  
家屋調査要員派遣
- ② 受援～Tec-Force、水位シミュレーション、電源車（要請後不要）

#### (2) 令和3年福島県沖地震

- ① 受援～県より家屋調査要員

#### (3) 令和4年福島県沖地震

- ① 応援～県内他市に給水車2台派遣、ペットボトル水提供、漏水修繕  
支援、可燃ごみ処理受入

### 6. プッシュ型被災者支援への転換

#### (参考) 台風19号時

- ・ 総合相談窓口のワンストップ化
- ・ 浸水地区への相談窓口・受付の開設
- ・ 浸水地区での災害ごみの巡回収集
- ・ 浸水地域でのボランティアニーズ把握
- ・ 浸水地域に申請前の損壊状況調査

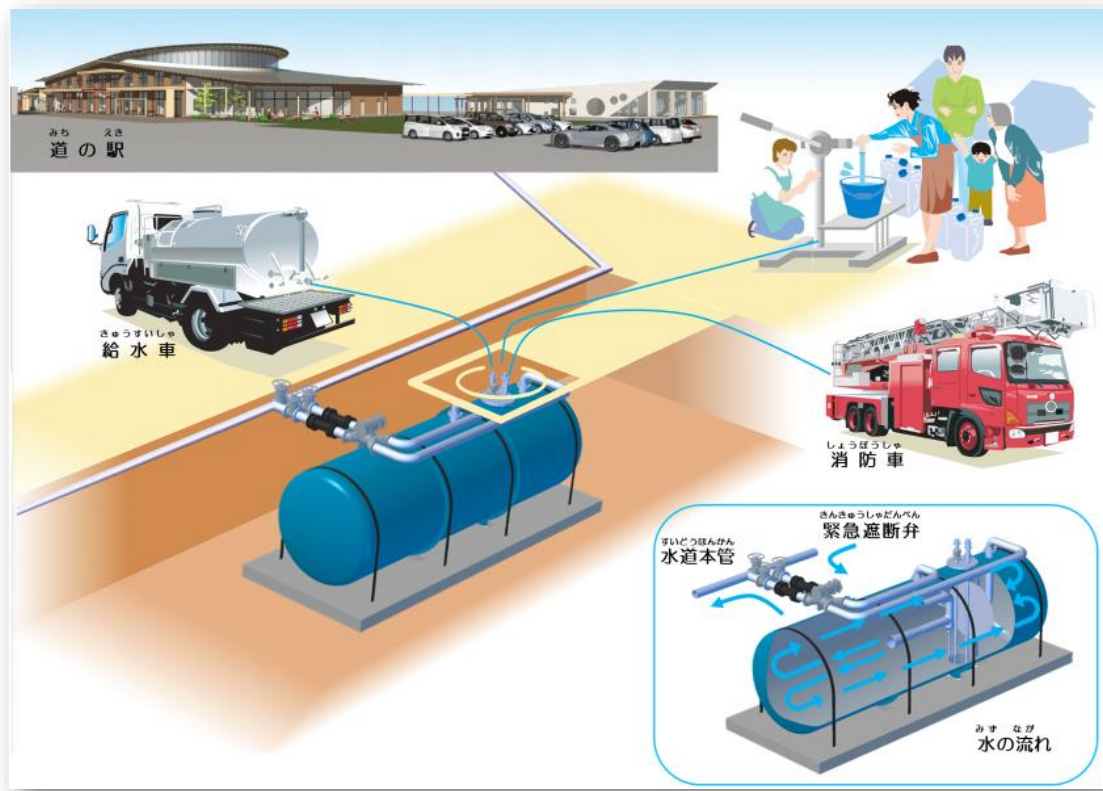


災害ごみの巡回収集

# 防災体制の強化④

## 7. 災害対策拠点としての道の駅

- ・ R4.4 道の駅ふくしま開業
- ・ 重点道の駅として、備蓄倉庫、耐震性貯水槽を備え、防災拠点に







# 地域住民の防災力の向上①

## 1. ハザードマップ

- ①全戸配布～洪水、土砂災害、火山防災、内水
- ②ダム下流域、防災重点ため池
- ③ふくしまeマップ

地図から探す



利用規約

### 水害時ハザードマップ

- 洪水ハザードマップ
- 内水ハザードマップ (浸水想定)
- 内水ハザードマップ (浸水実態調査結果)
- 土砂災害ハザードマップ

- 大雨時浸水注意箇所
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所

防災



家族みんなで、一人でも確認しよう！  
**福島市 防災ガイド**

近年の災害は予想を超える被害を全国各地にもたらしています。災害が起きたときの対策を、家族で防災計画を立てて、災害が起こる「いつか」のために「いつか」を準備しましょう。

**☆我が家の防災計画**

- 平常時：「災害と非常時対応の準備」、「避難所の確認」、「家具転倒防止（地震対策）」など
- 災害時：「情報の収集」、「避難行動」など

**○平常時**

- 「備蓄品」：災害に備えて食料等を備蓄しましょう！
- 「避難所」：災害に備えて食料等を備蓄しましょう！
- 「避難所」：災害に備えて食料等を備蓄しましょう！

**○災害時**

「避難」：災害に備えて食料等を備蓄しましょう！

**洪水・土砂災害**

- 1 自宅をハザードマップで確認
- 2 避難のタイミングを確認しましょう
- 3 避難する所を確認しましょう

**☆避難所リスト 2021**

避難所名	住所	備考
中央	中央	中央
東水	東水	東水
西	西	西
南	南	南
北	北	北

**☆車で避難できる店舗駐車場 警戒レベル3で開設します**

店舗名	住所	備考
スーパーマーケット	スーパーマーケット	スーパーマーケット
コンビニエンスストア	コンビニエンスストア	コンビニエンスストア
ドラッグストア	ドラッグストア	ドラッグストア
ホームセンター	ホームセンター	ホームセンター

電話：024-826-3793

## 2. 市民防災ガイドとマイ避難ノート

- ・ 避難の新基準を盛り込み、避難行動を平時から家族で共有。
- ・ 避難所リストと避難行動フローから適切な避難行動を促す。

# 地域住民の防災力の向上②

## 3. 地区防災計画の策定 ⇒ モデル策定から順次策定へ

## 4. 個別避難支援プラン

- ・ 避難行動要支援者の登録者 13,061人～プラン策定済み
- ・ 避難支援等実施者の確保～現在 26% (3,396人)
- ・ 災害時要援護者支援パッケージ  
⇒新基準に基づき、浸水想定区域の人から順次見直し
- ・ 該当者への登録勧奨

## 5. ぼうさい体験パッケージ

運動会での防災メニュー



街なかでの避難所体験

外国人との防災ワークショップ

女性目線の防災ワークショップ





# 新たな避難対策①

## 1. 避難所における感染防止対策

消毒、検温、テント設置、変調者への対応、マスク等配備など

## 2. 分散避難への転換

(1) 非浸水地域等は自宅避難

(2) 避難所の定員縮小と増設

- ・ 19か所⇒警戒レベルに応じ**39か所に増設**  
 地域の集会所等を一時避難所に活用
- ・ 避難所支援職員の増（8人1班体制）

(3) 市民参加の避難所運営

- ・ 地区集会所の利用、町内会による指定避難所運営

(4) 避難所の空き情報の配信

(5) ペット同伴避難所の開設～獣医師会等が協力

- ・ 同行避難は39か所



## 3. スーパー等駐車場の活用

スーパー等と協定締結、27箇所の駐車場を一時避難場所として活用



## 新たな避難対策②

### 4.障がい者通所施設を福祉避難所に

- ①障がい特性を理解し、通い慣れた通所施設を福祉避難所に
- ②11法人17事業所と協定締結。障がい者と家族157名が登録

### 5.旅館・ホテルでの妊産婦等の避難

13旅館・ホテル等と協定。

災害時に以下の市民の避難を受入れ

- 妊娠28週目から産後2か月の妊産婦
- 医療的ケア児
- 介助者及び同居する小学生までの子（兄弟姉妹）



### 6.多様な施設の活用

- ①大規模災害時、福島刑務所に340名程度避難。  
断水時、自家水による飲料水の提供も
- ②町内会と福島トヨタとの防災協定  
ショールーム等の一部を一時避難所として



# 新たな連携①

## 1. 県との相互協定

～相互に維持修繕の代行補修可能

市による県有施設の代行補修も可能に  
土砂流出や倒木等の啓開、道路冠水の排水等



内堀知事と現地視察



NTT東日本福島支店との連携

## 2. 情報通信に関する連携

- ①NTT東日本～通信の早期復旧
- ②NCV～避難所におけるWifi環境と災害情報の提供
- ③バカン～避難所の混雑状況を提供

## 3. 多様な事業者との連携

- ①福島県ペストコントロール協会  
～防疫業務の連携
- ②段ボール会社（福良梱包、ダイナパック）  
～段ボールシート、段ボールベッドの提供



福島県ペストコントロール協会  
との連携

# 新たな連携②

## 4. 上流域との連携

- 大規模遊水地が計画される上流域市町村への感謝とまちづくりへの貢献
- 福島駅前軽トラ市への出店招致

玉川村



矢吹町



鏡石町



## 5. 防災を教育や観光、まちづくりに





# 留意事項(特に首長として)①

## 1. 想定外を想定せよ！

- ①「想定外」は通用しない ⇒ 最悪の想定、次なる展開の予測
- ②当たり前として想定
  - ・複合災害(パンデミックも含む)
  - ・多重災害
  - ・「嫌な」ときの災害 ~ 酷暑、厳冬、時間外(開庁は1/4弱)

## 2. 災害対応の全体把握

- ①本部の情報機能の強化と本部での常駐
    - ・本部の情報集約機能の強化  
~ 首長は情報が集まる場、対応状況を把握できる場に
    - ・関係機関トップと情報交換
- ※現場把握は重要
- ②現地での被災状況全体把握
    - ・発災後、できるだけ早く被災現地全体の視察
    - ・漏れの回避、優先順位の参考



## 留意事項(特に首長として)②

### 3.避難情報の発出～予測を踏まえた決断

(1)水害の場合:客観的基準に基づく機械的対応

⇒ 予測、移動リスク等を考慮した総合判断

(2)洪水への対応

①河川水位における基準到達

・一定レベルに止まる ⇒ 発出せず

・さらなる上昇が見込まれる ⇒ 発出

②基準到達せず

・急激な変化で基準を超える見込み ⇒ 発出

(3)土砂災害

①危険度の高い区域を確認して判断

⇒ 土砂災害危険区域全域、一部地域の指定・発出、個別注意喚起

(4)夜間への対応

①基準超えが濃厚 ⇒ 明るいうちに発出

②基準超えが薄い ⇒ 自主避難所or知人宅・自宅の安全部分を示唆

(5)水位予測シミュレーションの導入



## 留意事項(特に首長として)③

### 4. 再生への強い意思とビジョンを示す

災害 ~ 人口流出の危機

#### ①迅速な再生への着手、メッセージ

- ・総合相談窓口、罹災証明の申請受付 ⇒ 早々に
- ・プッシュ型支援

#### ②地域再生への対策の提示

### 5. 再度災害への対応

#### ①いかに住民の心が折れないようにするか

⇒ 再起に希望がもてるメッセージ

- ・ことば、対策の内容、スピード、手厚さ

#### ②再度災害に配慮した対策





## 留意事項(特に首長として)④

### 6. 安全安心な地域に向けて

- ①居住推奨区域の見直し
- ②ハザードマップの利用法の見直し

### 7. 最後は自助～勇気をもって住民意識の向上を

- ①自助・共助・公助の連携・バランスが重要
- ②最後は自助。住民に訴え、防災意識が向上する取組を
- ③行政は、住民が主体的な行動をとれるように全力で支援
  - ・情報を得ようとする人には伝わらない
  - ・自助の意識を高めることは、あらゆる災害に必要